

祝! 第50号記念



こちらから、ご覧いただけます。

図書館ニュースレター
「OH! My LIB CAFE」

ぜひ感想をお寄せください



図書館ニュースレター「OH! MY LIB CAFE」は、2009年に創刊し今号で第50号となります。

タイトルのLIB CAFE(リブカフェ)とは、「Library Café」の略で、「喫茶店のように和やかに過ごせる図書館にしたい」という思いで名づけられました。

創刊から15年、より多くの皆さんに図書館を利用していただけよう、このニュースレターを発行しています。

日本語版と英語版を発行し、図書館ホームページからも閲覧できます。

図書館長からの挨拶

2024年度～
現図書館長
石渡 哲哉

皆さんはどのように図書館を利用していますか？ 最近は電子的な書籍や資料が増えており、図書館に行くことなく所望の本や論文などを読むことができることも多くなっています。今後はますます電子的な出版が増えるでしょうから、図書館もこのような「拡張された」図書館

として変化していくことでしょうし、みなさんには利便性を生かしどんどん電子書籍等の活用をしてほしいと思います。一方で、それだけではもったいない、という思いもあります。図書館には、体系的に並べられたたくさんの本があります。探していた本だけでなく、ぜひその周りの本や、たまにはちょっと違う分野の本棚に並ぶ本の背表紙を眺めて、目に留まった本を手にとってパラパラと眺めてみてください。そんな中に、これはもうちょっとちゃんと読んでみたい、と思うような本があるかもしれません。そのような予期せぬ出会いの場を提供するのも、図書館の重要な機能であり使命であると思っています。ぜひ図書館を存分にご活用ください。

2023年～2018年度
図書館長
田中 直彦

図書館は大量の書籍と向き合う静寂な空間という印象を持っていましたが、図書館長就任と同時に考えを改めました。今どきの図書館はグループワークのための空間でもあり、単なる「静寂な空間」ではないのです。また私

が大学院生の時は文献探しで図書館をよく使いましたが、今では電子ジャーナルが増え、図書館に行く必要は無くなりました。授業でのレポート課題も、かつては「図書館で調べなさい」という課題がありましたが、インターネットの普及により調べもの課題は意味がなくなりました。この先も図書館の機能が変化していくのは間違いない、紙媒体の書籍はなくなるかもしれませんが、紙媒体の書籍はどんな空間になるのか、それは利用者の皆さんの意向によって決まります。「これができるといいな」といった声をたくさん出して頂き、未来の図書館の姿を模索してください。

2017年～2012年度
図書館長
角田 和巳

皆さんにとって、大学図書館はどのような存在でしょうか。私にとって大学図書館は、人生の道路を見つけるきっかけとなった特別な場所でした。40年ほど前になりますが、田町校舎の図書館でレポート作成のために資料を探していたところ、ある一冊の専門書が目にとまりました。その本は気体力学に関する書籍で、レポートのテーマとは関係がなかったと記憶していますが、ページをめくっていたところ「電磁流体力学」という分野に偶然出会い、強い関心を抱くようになりました。このことがきっかけとなり、大学院では電磁流体力学の研究室に進み、現在もこの分野の応用研究に取り組んでいます。もし、あのとき別の本を手にとっていたら、今の私は異なる道を歩んでいたかもしれません。皆さんもぜひ、時間を見つけて図書館に足を運んでみてください。そこには、あなたの未来を変える一冊が待っているかもしれません。

ろ、ある一冊の専門書が目にとまりました。その本は気体力学に関する書籍で、レポートのテーマとは関係がなかったと記憶していますが、ページをめくっていたところ「電磁流体力学」という分野に偶然出会い、強い関心を抱くようになりました。このことがきっかけとなり、大学院では電磁流体力学の研究室に進み、現在もこの分野の応用研究に取り組んでいます。もし、あのとき別の本を手にとっていたら、今の私は異なる道を歩んでいたかもしれません。皆さんもぜひ、時間を見つけて図書館に足を運んでみてください。そこには、あなたの未来を変える一冊が待っているかもしれません。

リブカフェ いまむかし



第12号より

2011年3月11日の東日本大震災の様子が、第12号で記事になりました。写真から、その衝撃が伝わってきます。

第12号は
こちらからご覧
いただけます

一部抜粋

東日本大震災の時、豊洲図書館では、全ての建物が免震構造のため、本の落下はありませんでした。一方、大宮図書館では耐震補強工事を完了していましたが、振動により一部の本が落下しました。また、当時存在していた芝浦図書館でも、建築系大型本の落下がありました。幸いにも、利用者や建物に被害はありませんでした。

震災後、本の落下を防ぐために落下防止用テープを導入し、それまで以上に書架の整理を心掛けています。これにより、本が落下しないよう努めています。

図書館では、防災意識を高め、「人の安全」と「資料の保護」に尽力しています。そのため、利用者の皆様にもご協力をお願いしています。もし地震が起きたら、書架から離れ、閲覧席の下に待機して安全を確保してください。



第16号より

現在は毎年恒例となっている図書館のイベント。24年の歴史があり、リブカフェではその移り変わりを知ることができます。

第16号は
こちらからご覧
いただけます

一部抜粋

ブックガーデン(選書会)へ参加したことがある人も多いのではないのでしょうか？ブックガーデンとは、図書館に書店が来て、図書館に置いてほしい本を選ぶイベントです。

2012年10月発行の第16号では、その前身となる選書ツアーの報告がされています。2000年から2014年までは、利用者の皆さんが該当の書店に行き、図書館においてほしい本を選ぶイベントでした。参加人数は、40名、822冊の本が図書館に並びました。

現在、図書館に書店が来て本を選ぶようになり、参加人数は800人程度に大幅に拡充。毎年恒例となるイベントで広く親しまれています。

02. 図書館 news



図書館利用満足度調査結果 —より快適な 図書館づくりのために—

2024年9月2日(月)～10月12日(土)に図書館利用満足度調査を行い、図書館内、HPのほか、ScombZからもたくさんのご回答をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

調査の結果は図書館HPに掲載されます。

みなさんからの意見を参考に、よりよい図書館づくりに努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



展示企画「世の中は驚きに満ちている ～ノンフィクションの世界」

虚構を用いず事実に即してつくられた著作を「ノンフィクション」といいます。本展示では社会の出来事、人物、歴史的事象などの作品をご紹介します。冬の長期休暇にゆっくり読んで、教養の幅をさらに広げてみてはいかがでしょうか。



展示企画 「学内フリーペーパー、 tot のわくわく制作日記」

芝浦工業大学の学生情報誌「tot(とっと)」を知っていますか。“おすすめ単位”や“シバツフェッショナル研究の流儀”など、芝浦生の学生生活が「少し豊か」になるような記事制作をモットーとしている編集部の活動を、図書館とのコラボで紹介。企画→取材→編集の行程にそれぞれ有効な発想力、コミュ力、デザインなどに関する図書を幅広く展示しています。



03. 図書館 Best5

貸出ベスト5 (2024年4月1日～2024年9月30日)

デザイン系

- 1 前田建設ファンタジー営業部
【請求記号】778.77/Ma26/ 指定
- 2 映画を早送りで見ると：
ファスト映画・ネタバレ — コンテンツ消費の現在形
【請求記号】778.04/I51/ 学選
- 3 ノンデザイナーズ・デザインブック
【請求記号】727/W74
- 4 ふつう
【請求記号】757.04/F72
- 4 UnityではじめるC# : 知識ゼロからはじめるアプリ開発入門
【請求記号】798.5/R33

資格

- 1 うかる! 基本情報技術者：福嶋先生の集中ゼミ
【請求記号】007.6/F84/ 資格
- 2 画像処理エンジニア検定エキスパート・ベーシック公式問題集
【請求記号】007.64/G29/ 資格
- 3 栢木先生の基本情報技術者教室：
イメージ&クレー方式でよくわかる
【請求記号】007.6/Ka98/ 資格
- 4 Python 3エンジニア認定「基礎試験」問題集：
PythonED基礎試験公式問題集
【請求記号】007.64/B41/ 資格
- 4 統計検定2級公式問題集
【請求記号】417/N77/ 資格

